

『子供と一緒に世界を広げていく』

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」第 28 号

関東の、セルラス『多言語教育』セミナーに参加してきました。根底に流れる基本的理念は変わらないのですが、聞かたびに新しい話が追加され新たな気づきがあり、その時々で得るものが変わります。体験談もメンバーの生の声が聞けてイメージが膨らみ、面白かったです。セルラスを知りたい方にも、すでに活動されているセルラスメンバーの方にも、ぜひ何回も聞いていただきたい講演会・セミナーです。

※セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。
このメルマガと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。
<http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

◇◇セミナー・講演会の体験談より◇◇

ただ今セルラスでは多言語教育講演会・セミナーを各地で開催しています。講師の講演と合わせて、実際に活動しているメンバーの体験談も毎回楽しみの一つです。今日はその中から、入会ほやほやの丹野さんの体験談をご紹介します。それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第 28 号の目次です。

【目次】

- ≪1≫ 子供と一緒に世界を広げていく
神奈川県厚木市在住 丹野さん
- ≪2≫ セルラスインフォメーション

≪1≫ 子供と一緒に世界を広げていく

神奈川県厚木市在住 丹野さん 家族構成:夫、長男(小2)、次男(1歳)

セルラスの多言語力、コミュニケーション力、人間力を育てるという講演会を聞いて、その考え方に共感し、オープンセルラスなどの体験を経て入会を決めました。4月から活動をしています。まだ、始めたばかりでセルラスの内容について詳しく語ることはできませんが、オープンセルラスで感じたことやセルラスへの入会を決めた理由などをお話したいと思います。

【人に向き合う気持ち】

子どもが小学校からもらってきたチラシに大きく「世界に通じる力を育てる」と書いてあり、それがまず目に留まったのですが、読んでいくと「誰でも身につく多言語力」、「人とつながるコミュニケーション力」、「違いに学ぶ人間力」の言葉にとっても強くひかれました。

これからの子どもたちの世代は、仕事も世界が舞台になるのが当たり前になりつつあり、国内にも外国の方がたくさん住んでいるので、言語や文化、風俗、習慣などの違う人と関わることがどんどん増えてくると

思います。

その様に違う人たちとのコミュニケーションには、言語力はもちろん大切ですが、相手のことを知りたい、自分のことを知ってもらいたいという、相手にしっかり向き合う気持ちを持つことの方が大事ではないかと私は思っています。

そして、セルラスではそのような力を育てることを大事にしていると聞き、とても良いと思いました。

【学歴よりも大切なもの】

今まで私は日本に住んでいて、世界をほとんど意識していませんでしたが、現在私の弟がインドネシアのジャカルタに海外赴任をしていて、2年前から家族で暮らしています。

弟が一時帰国しているとき、ジャカルタでの暮らしの様子を聞いたことで、私にとって初めて世界が身近に感じるようになりました。

小2の息子は最近街で外国の方を見かけると、悪気はないのですが『あ、外国人だ。』と言うようになりました。見た目などで自分たち日本人とは違うという認識をし始めたのだと思います。

違うことは違うのですがその違いを普通に受け入れて、人種や言語、宗教や障害などいろいろな人がいるということを知ってもらうためにも、セルラスでの活動は有意義なのではと感じています。

外国の方との関わりだけでなく、コミュニケーション力や人間力は、普通に日本で暮らしていく上で、今とても、もしかしたら学歴よりも大切なのではないかと私は思っています。

大人になっていく上で子どもたちにはぜひ身につけていってほしいです。これが、私がセルラスへの入会を決めた理由です。

【オープンセルラスで感じたこと】

そして、オープンセルラスの体験で感じたことは、子どもたちが自主的に発言、行動していて生き生きしているなということでした。

オープンセルラスでは子どもたちが世界のクイズを出したり、多言語で自己紹介やロールプレイを見せてくれました。

流暢に韓国語で話す子どもたちを見て、ただ素直にびっくりしました。幼稚園児から高校生まで年代の違う子どもたちが同じことに取り組み、年長者はリーダーシップを発揮して周りを引っ張っていました。子どもたちは初対面の私たち家族にもよく話しかけてくれて、下の子もあやしてくれたり、すぐに受け入れてくれてうれしかったです。日本語でのロールプレイでは私たち家族も参加したのですが、班分けで私と夫と息子がバラバラになりました。

初めての方ばかりの中で大丈夫かと心配していましたが、同じ班の方々が受け入れてくれて、息子が出した意見を採用しとてもほめてくれたそうで、息子はとても喜び、少し自信につなげていました。

ピアザではプレゼンテーションもよく行われています。

堂々と人前で自分の考えを発表していた子が、数年前の最初の頃はお母さんの後ろに隠れて恥ずかしがっていたと聞いてびっくりしました。

【自分の知らない世界が】

実は3月まで息子は他の英語の塾に通っていたのですが、人と人との関わる力や、じぶんを表現する力などを身につけることの方が大事だと考え、4月からセルラスに切り替えました。

最近の習い事は子どもを送って終わりという所も多いですが、セルラスは家族で参加するので、目の前で子どもたちの成長を見ていけることがとても楽しみです。

私自身も、大人になってから凝り固まっている頭が解きほぐされて、まだ知らない世界が広がっているかと思うとこれからのセルラスの活動がとても楽しみです。

丹野さん、ありがとうございました。ぜひ全体のイベントにも積極的に参加して、ご家族でセルラスを楽しんでくださいね。

《2》 セルラスインフォメーション

◆ 2016年 多言語教育講演会・セミナーのお知らせ ◆

只今、各地で講演会・セミナーを開催しております。
お友達やお知り合いにも是非お知らせ下さい♪

◎関東

春のセミナーは好評のうちに終了しました。ご来場ありがとうございました。

◎関西

- ・大阪・・・6/14(火)午前 & 6/15夜 西九条
 - ・6/23(木)午前 新大阪
 - ・6/26(日)午後 阪急十三
 - ・6/28(火)午前 天満橋
- ・兵庫・・・6/17(金)午前 & 6/22(水)午前 芦屋
 - ・6/24(金)午前 JR 住吉
 - ・6/25(土)午後 阪神御影

開催場所、時間などの詳細はHPをご覧ください。

⇒<http://www.celulas.or.jp/skejur3.html>

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。